

平成25年度

# 事務所だより



第43号

平成25年5月2日

浜田教育事務所

☆所長あいさつ (P1)	☆派遣指導主事・社会教育主事より	☆学校訪問指導について (P6)
☆スタッフ紹介 (P2)	♪川本町 (P4)	☆道徳教育について (P7)
☆主な事務分掌 (P3)	♪邑南町 (P5)	☆管内研究指定校 (P8)

## 温かな教職員集団の中で育つ子どもたち

所長 春日 仁史

平成25年度が始まり、各学校では子どもたちの元気な声が響き、笑顔と活気に満ちあふれていることと思います。今年度もよろしくお願ひします。

さて、新年度早々、進路保障に係る児童生徒支援加配校を訪問させていただきました。

職員室に挨拶したときに、笑顔でさわやかに対応してくださった皆さんありがとうございました。「何でも話ができる、相談のできる温かい雰囲気 of 職員室だ」と感じました。校長先生や推進者の先生方の穏やかで謙虚な中にも、わが校の子どもたちの笑顔と元気、夢を守るために自分がやらなくて誰がやるという気概や信念、愛情が伝わってくる語り to 感心するとともに心強く感じました。

数年前、生徒指導等に苦慮した学校で聴いた話です。いつでも、誰でも、「早く、丁寧に」対応できることが求められた時期があったそうです。一人で問題を抱えることなく、全教職員が同一歩調で対応するためには情報共有は欠かせなかったといひます。だから、今でも遠慮なく話ができる雰囲気があるといひことです。もちろん、子どもたちの活躍も話題になっていることはいひまでもありません。

今回訪問した多くの児童生徒支援加配校でも、子どもたちの変化を見逃さず、寄り添いながら、「見えない姿を知る。聞こえない声を聴く」姿勢が当たり前のこととなっていると感じました。

また、訪問した数校の校長先生が異口同音におっしゃる「皆さんには、本当によくやってもらっています」とのねぎらいと感謝の思いが込められた言葉

と職員室の雰囲気とは無縁ではないように思ひます。子どもたち一人一人が大切にされる学校では間違いなく、教職員一人一人が互いに尊重しあい、協力しあえる円満な関係が築かれているのではないのでしょうか。

また、4月下旬に開催しました浜田教育事務所管内の前期進路保障連絡協議会で、講師さんが「先生が好き、学校が好き」な子どもたちに育ってほしいとおっしゃいました。聴講された方の感想の中に、「学校で『挨拶しない子がいる』と話題になることがあります。『挨拶がしたくなる教師、挨拶がしたくなる学校であることが求められる』と感じました。」とありました。豊かな感性の持ち主だと感心するとともに、学校に帰って「なぜ、挨拶しないのだろう」と職員室で子どもの立場にたって話題にされたのではないかと思ひました。

「児童・生徒にとって最大の教育環境は『人』である。」という言葉があります。職員室の雰囲気や教職員の円満な関係は子どもたちに好影響を与えていることは間違いありません。先述したような、心温まる教職員集団の中で育つ子どもたちはとても幸せです。「先生が好き、学校が好き、友達が好き」と笑顔で元気な子どもたちの声が聞こえてきそうです。

いじめや不登校、体罰等の様々な問題が取り上げられる中、各学校では、学校の教育課題解決に向けて、児童・生徒一人一人に寄り添い、教職員が一体となって真摯に取り組まれていること、気概と愛情に満ちた教職員の皆さんが頑張っていたいひことに感謝します。引き続き、温かい教育環境の中で子どもたちを中心に据えたすばらしい教育実践が展開されることを期待しています。



所長 春日仁史  
(5700)



調整監 杉野本智幸  
(5701)

☆総務課



鹿森千恵子 福田幸太郎 新川勝美 大崎章子  
(5704) (5703) (5705)  
濱村修司 福本博幸 黒見正樹  
(5702) (5702) (5711)

☆社会教育スタッフ



河本誠二 小谷明浩 松原 聡  
山本尚生 寺本典則 大石 学 吉田茂延  
(5712) (5709)

☆市町派遣指導主事 (浜田市・大田市)



矢田悦夫 堀江真佐邦  
渡邊 淳 上ヶ迫定夫 領家弘典

☆学校教育スタッフ



羽柴千晴 宇野正一 伊津洋士  
(5707) (5706) (5708)  
井口 猛 石橋邦彦 濱崎政寿  
(5706) (5707) (5706)

☆市町派遣指導主事

(江津市・川本町・美郷町・邑南町)



生越 徹 笠井 修 大屋裕二  
橋井泰治 堀 康弘 岡田和明

電話番号の局番は、0855-29-〇〇〇〇

# 平成25年度 主な事務分掌

	所長 春日 仁史	総括
	調整監 杉野本 智幸	教職員の人事・任用及び服務に関すること 市町教育委員会に関すること
総務課	課長 福本 博幸	総務課事務の総括に関すること 教職員人事の事務・勤務記録に関すること
	企画員 濱村 修司	教職員〔小学校（浜田市）〕の旅費に関すること 教職員の給料に関すること 教育事務所庶務に関すること
	主任 黒見 正樹	学校事務職員等の研修に関すること 教職員〔中学校〕の旅費に関すること
	主任 新川 勝美	一年期限付任用教職員及び短期補充教職員の給与に関すること 教職員〔小学校（江津市・邑智郡）〕の旅費に関すること
	主任 福田 幸太郎	非常勤講師の報酬の支払いに関すること 教職員〔小学校（大田市）〕の旅費に関すること
	嘱託員 大崎 章子	教職員互助会浜田支局事務に関すること
	臨時職員 鹿森 千恵子	教育事務所事務の補助に関すること
社会教育スタッフ	社会教育主事(兼)企画幹 寺本 典則	管内市町の社会教育・生涯学習の指導助言 青少年教育, 少年自然の家, 青少年の家に関すること
	派遣社会教育主事 河本 誠二(浜田市) 大石 学(浜田市) 吉田 茂延(大田市) 松原 聡(川本町) 小谷 明浩(美郷町)	・家庭, 学校及び地域が連携協力した社会教育事業の推進に関すること ・島根の地域の特性を生かしたふるさと教育の推進に関すること ・広域的な市町の枠組みに対応した新たな地域社会における人づくり, 地域づくりの推進に関すること
	同和教育指導員 山本 尚生	・同和地区児童生徒に対する進路保障推進に関すること ・学社連携による地域ぐるみの同和教育推進に関すること
学校教育スタッフ	指導主事(兼)企画幹 石橋 邦彦	生活科, 理科, ふるさと教育, 情報教育, 環境教育, へき地・複式教育 教育課程全般 環境教育総合支援事業 科学の甲子園ジュニア しまねのふるまい推進プロジェクト, 学習と評価実践研究事業
	派遣指導主事 【学力向上】 渡邊 淳(浜田市) 矢田 悦夫(大田市) 堀 康弘(江津市) 橋井 泰治(江津市) 笠井 修(川本町) 生越 徹(美郷町) 大屋 裕二(邑南町)	・学校の組織編成, 教育課程, 学習指導, 生徒指導及び職業指導に関すること ・教科書その他の教材の取扱いに関すること ・校長, 教員その他の教育関係職員の研修に関すること ・生徒, 児童及び幼児の保健, 安全に関すること ・人権・同和教育, 特別支援教育に関すること ・国及び県の教育施策に関すること ・島根の地域の特性を生かしたふるさと教育の推進に関すること
	【生徒指導】 上ヶ迫 定夫(浜田市) 領家 弘典(浜田市) 堀江 真佐邦(大田市) 岡田 和明(江津市)	
	指導主事 濱崎 政寿	社会科, 外国語活動・外国語, 特別活動, キャリア教育, 国際理解教育 帰国・外国人日本語指導, コミュニティスクール, 小中連携キャリア教育推進事業
	指導主事 井口 猛	算数・数学科, 総合的な学習の時間, 人権・同和教育, 進路保障推進事業 進路指導, 少人数指導, 全国・県学力調査, しまね数リンピック
	指導主事 宇野 正一	特別支援教育, 幼稚園教育, 福祉教育, 学校訪問計画, にこにこサポート事業 広域特別支援連携協議会, スーパーコーディネーター配置事業
	指導主事(兼)生徒指導専任主事 伊津 洋士	生徒指導, 保健体育科, 食育, 保健・安全教育, 金銭・金融教育, 消費者教育 SC活用事業, いじめ対応支援事業
	指導主事 羽柴 千晴	国語科, 道徳教育, 学校図書館活用教育, 教職経験者研修 子ども読書活動推進事業, 道徳教育総合支援事業, 家勉充実プロジェクト

## ♪川本町教育委員会 派遣指導主事 笠井 修♪

小学校1年生から中学校3年生までの9年間が同じ学級集団…これが川本町の実態です。そのため、学級集団づくりが重要な課題となっており、小・中学校が連携して、学級の中で誰もが話せる雰囲気を作り、仲間意識を強め、聴き合える子どもを育てることが大切です。そこで学び合い、高め合う学級集団の構築を基盤にして学力向上のための方策を進めていきます。

### 1. よりよい学級集団をつくる

”学び合い”と”学級集団づくり”のための外部講師を招き、学習基盤となる仲間づくりを進めます。授業公開をとおして、教師の力量を高めます。また、学校における教育相談体制の充実を図るために、学校と町教委が連携を取りながら、SC・SSWの有効的な活用を考えていきます。

### 2. 家庭学習の習慣をつくる

小・中学校で作成している家庭学習の手引きを基に、学校と共に児童生徒に家庭学習の習慣化を図ります。そのために、放課後に自主学習を進めるための勉強会を行います。その様子を保護者や地域にも知らせ、家庭学習を進める風土づくりを推進します。

### 3. ICT活用で指導効果を上げる

昨年度から電子黒板、さらに今年度は小学校にタブレットPCを導入し、様々な教育機器が活用できる環境になります。一斉指導、個別指導、さらにはそれらを融合した指導など、児童生徒の学ぶ意欲や考える力を高めるような活用の仕方を研修していきます。

派遣指導主事3年目となり、学校訪問を頻繁に行い、授業に参加したり、先生方と話し合ったりすることで、学校や学級の様子は勿論のこと、児童生徒全員が分かるようになりました。川本町ならではの“柔軟性・機動性・協働性”の強みを生かして、学校の課題に応じた支援に努めます。今年度もよろしく願いいたします。

## ♪川本町教育委員会 派遣社会教育主事 松原 聡♪

かつて1万人を超えていた川本町の人口は、25年1月末には3,692人となり、過疎化と高齢化が同時進行しています。しかし、人口が減っても川本町に住んで良かった、いつまでも住み続けたいと思われるために「つながりとぬくもりの中で豊かに暮らせるまち」を町政テーマとして掲げています。そして、顔のみえる温かい交流や学び合い、お互いを思いやる絆の強い人づくりを目指していくために社会教育を進めていきます。

### 1 ふるさと教育 第3期3年目

ふるさと教育が始まって今年で9年目。当時ふるさと教育を学んだ6年生は20歳を迎えます。ふるさと教育は、地域を学ぶだけではなく、地域で学び、そして地域に学びます。そうした「ひと・もの・こと」との関わりをとおして、自分がこの地域で生まれ、地域の中で見守られながら育ってきたという実感を得ます。それが生きる意欲と学ぶ意欲にもつながり、やがて人のために、地域のためにと強いものへ変わり、社会人として自立していくと思えます。

### 2 連携して魅力あるものに

今、川本町に住んでいる人が、自分だけでなく、自分の子孫もずっとここに住まわせたい、さらに他地域に住んでいる人を「ここにいらっしやいよ」と誘い込めるように、多くの方と連携しながら魅力あるものを創り出していきたいと思えます。人と人がつながり、ゆるやかに学び、ネットワークを広げていきたいと考えています。

家庭をサポートできるような地域づくり、学校を支えられる地域づくりを進め、地域全体で子どもを育ていけるように進めていこうと思えます。今年度もご協力をよろしく願いいたします。

# 邑南町

## ☆邑南町教育委員会 派遣指導主事 大屋裕二☆

邑南町派遣指導主事の大屋裕二です。2年目を迎えました。邑南町では学びの主体者、協同者を育てることをめざして『学び合い授業づくり』を町内すべての小中学校で実践研究しています。

ある先生は日ごろ関係づくりで悩んでいたAさんのことを、授業を通して理解していきたくらいと願い、指導案の最後に資料として前時までの板書写真とAさんの感想を載せていました。また、集団とのかかわりで気になっていたBさんについて、みんなの見方を良好にしたいと願い、Bさんの発言から話し合いを始めようと考えて本時に臨んでいました。授業を通して子ども理解と集団づくりに取り組もうとする先生の姿勢・熱意に感激しました。当日もAさん、Bさんをはじめ、学級全員が生き生きと気づきや思いを語り、教材への解釈が深まっていく授業を見せていただきました。

また別のある先生は「どんな小さな声も聴こうと思えば聴ける」と子どもへ投げかけながら徹底して聴く（訊く）側の指導に取り組んでおられました。授業では「Cくんの考え聴きたい!」「Dくんの説明を聴いて思いました〜!」などの子どものつぶやきが聞かれました。聴く人がいるからこそ、子どもは自分の考えを語るし、わかりやすく伝えようと努力をするんだということを再確認しました。

私は昨年度「邑南学び合い」というタイトルの便りを発行してきました。上記のような各学校で繰り返されるすばらしい学び合いの姿や子どもと熱く向き合う先生方の姿を町内すべての学校に広げていくことが私に与えられた役割の一つです。今年度も精一杯役割を果たしていきたくらいと思っています。

## 邑南学び合い

派遣指導主事大屋  
2013. 1. 11  
NO.13

### 石見東小での授業研究会

昨年度モデル校として積極的に研究していただいた石見東小。今回は4年学級担任の天野先生の国語、「世界美しいほくの村」(4年生下)の物語教材を使っている授業でした。学習指導要領3、4年「C読むこと」の指導事項に明記されている「文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気づくこと」をめざして行われた授業です。12人の子どもたちが次々に発言をつないでいく姿がとても印象的でした。

### 公開授業

天野先生は、子どもたちの主体的な読みを重視し、何でも言える学級の雰囲気づくりを重点課題としながら、次のような学習過程を昨年担任した時から一貫して取り組んでこられたこととです。

★読んだことや自分の考え、みんなに尋ねたいことを書き込む「一人学び」

★全体で話し合う、聴き合う「相互学び」

★学習の感想を書く「学習のまとめ」

授業が始まると、まず前時の子どもたちの感想をいくつか紹介されました。そして、今日学習する5場面を交代で音読した後は、先生から『自分で勉強したことを出し合ってみよう』と指示が出て、子どもたちは書き込んだことをどんどん発言していききました。

- C1: 「なつかしい」を調べてみたら、昔のことを思い出してゆがみかたかた書いてあった。  
C2: ほくも調べ、昔のことが思い出されると書いてあったから、たぶんやもは一日前を思い出して・・・  
C3: C1、C2が言ったように、書いて帰ってきたらなつかしいと思って、やもは一日だけちがう環境に入ってもどってきて、いいなあと改めて思った。



- C4: やもは他の町に行ったことがなくて、村に帰ってきただけでやっぱここが一番だと思って、なつかしかった。  
C5: 一日だけだったけど、やもにとっては大冒険だった。  
T1: 大冒険だったんだよね。  
C6: C4に似ていて、一日じゃなかったけど、自分の生まれた村だから「世界美しいほくの村」と言ったんだと思う。  
C7: やもは自分が生まれた村だからやっぱりハグマンがいい。桜がいっぱい咲いていて美しい村だと言ったんだ。  
C8: C7さんの意見を聞いて、私もきれいな花とかあるから自然いっぱい村だから世界美しい村と言ったんだと思う。  
C9: 冒険で。次の行にやもはつぶやきましたとあるけど、何でつぶやいたのかな、言いたいんだから大きな声で言ってもいいのに。  
T2: 「つぶやいた」ってだけか調べた?  
C10: 調べたら、小さな声でひとり言を言うのと書いてあった。  
C11: 私も調べたら、小さな声で聞かさないようにと書いてあったから、たぶんいろんなことを含めての中で言ったんじゃないか。  
T3: 心の中で言っていた感じ?  
C12: ひとり言って何ですか?  
C13: ひとり言っているのは、時々お母さんもうんだけ、ほくが聞かれたら思っ「何?」と聞いても言っていないよと言われて、一人でしゃべっている感じ。  
T4: 「ハグマンはいいな、世界美しいほくの村」とそっとつぶやきましたというんだけど、大きな声で言っていないんじゃないか、C11はいろんな思いを込めて心の中で言うような感じだから、小さな声なんじゃないかな。他の人はどうですか?

- C14: つぶやいたのは、自分にとってハグマンが一番だけど、他の人ではちがうところかもしれないから、それでつぶやいたのではない。  
T5: 自分にとって、だから・・・  
C15: 自分の心が自慢というか、大事にしているから。  
C16: さくらんぼを売ったり、いろいろな経験をしてきたから、この経験を忘れないように心の中に入れてよ。  
C17: つぶやいたのは、もしかしたらお父さんはハグマンが世界一ではなくて、曲かもしれない・・・(以下省略)

この後も「たった一日」という言葉、「子羊にハハールと名前をつけたこと」などの文章の言葉を話題にして話し合いが続きました。この話し合いを通して、主人公が村や兄を大切に思う心を読み取るという本時のねらいに子どもたちは向かっていました。それを通して子どもたちは、教材にある文章や言葉を読みひらく知技を学んでいたのではないかと思います。



### 研究協議

石見東小の研究協議は次の流れでした。

- 個人作業  
A 今日の授業から学んだことを5つ書く。  
B 改善点や提案を1〜3書く。
- 全体協議

①Aから一人一つずつ発表

②Bについて発表

→その中でいくつか取り上げ協議

3 指導協議

司会の先生が適宜まとめをして進められました。話題になったことの中からいくつか紹介しました。  
○自分の思いを伝えやすい雰囲気があった。  
○全員が発言できていたし、子どもが次々につなげて発言できていたことがすばらしい。  
○語句にこだわって考えているすばらしい。  
○言葉の意味を発表しながら、物語の読み取り

話し合いが向かっていく。これは、ただ辞書で調べただけでなく、物語文に合うように意味を考える指導の積み重ねである。  
○子どもが授業のやり方がわかっているので安心して自由に言える。子どもが言えないのは、授業のやり方がころころ変わってしまっているからなのではないか。  
○45分間ずっと発言が続いていった。子どもがじっくり考える時間、ノートに書く時間をとることも必要なのではないか。

### 山下先生指導講評

▶ 習熟期の学び合いを目指す一つのモデルを示した授業。これは天野先生と子どもたちとが合意して作り上げてきた授業なので、急にスタイルを変えていくのはどうか。子どもは黙ってしまっても構わない。ただ、休憩したいと思うものもあるかも。

▶ 子どもが微妙に付け足しな発言を休ませている。これは天野先生の息の長い働きかけと受け止めがあるはず。子どもも自分でやり出すまで(自己指導ができるまで)教師ががんばるかどうかが肝要だ。

▶ 「つぶやきは良い、つまりきは受け止める」天野先生はこの積み重ねをしてくれている。また、天野学級は話す指導はもちろん、聴く指導も同時進捗している。

▶ 教師から解放された話し合いの雰囲気。子どもは喜びを感じている。だから、そこに社会的学習につながる学び合いが生まれつつある。

今回の授業の指導案には、これまでの1〜4場面の板書の写真とGくんの毎時毎分の感想が裏面に付けてありました。天野先生は、Gくんと良好なつながりをつくっていきたくらいと願っていたからです。また、Tくんには「なつかしい」の意味を一番に発言させて(授業記録のC1)そこから話し合いをスタートさせたかったと言われました。Tくんと集団のかわかりを築きたいという天野先生の願いがうかがえます。

この思いを知り、天野先生が授業を通して子ども理解、集団づくりをされていることに、私はとても感謝しました。集団づくりと個人との支援を別ではなく、共に進めていく姿勢、大変勉強になりました。天野先生、ありがとうございました。

文責 大屋

次号では、浜田市を特集します。次号44号は7月上旬発行予定です。

# 学校訪問指導 よろしくお願ひします

学校訪問指導は、学校教育の充実を図ることを目的として実施しているものです。指導主事等の訪問により、各学校の教育課程、学習指導その他学校教育に関する専門的事項の指導・助言等を行い、各学校の教育力の向上を図りたいと考えています。

## A 教科等指導に関する学校訪問指導

『A 教科等指導に関する学校訪問指導』では、主として学校等の申請に基づき、特定の教科等における指導力の向上、人権・同和教育等に係る指導・助言を行います。また、研究発表会、指定事業等学校の実態や要望に応じた指導・助言等も行います。

毎年配付しています「各教科等の指導の重点」を今年度は全面リニューアルしました。そこに、平成25年度教育課程実施上の重点事項が9つ示してありますので(P2~P5)、それを踏まえ、授業改善に取り組んでいただきたいと思います。また、「学習評価を生かした授業改善、授業づくりのためのハンドブック(H23.3小・H24.3中)」「実りある授業のためにH24.秋・H24.冬」も参考にして学習指導案等を作成してください。

訪問時の内容としては、授業公開及び研究協議が主なものとなります。教科等に係る指導力の向上を図ることにより、児童生徒の学力向上につなげたいと考えていますので、研究協議はなるべく全教職員参加でお願いします。授業では、ねらい、手だて、児童生徒の変容等を中心に助言を行いたいと考えております。

## C(1) 生徒指導に関する学校訪問指導

今年度から生徒指導関係の学校訪問として、3年間で管内のすべての小中学校の訪問を計画しており、平成25年度はすべての中学校と希望する小学校に伺う予定です。

「自己指導能力」の育成をめざすと言われる生徒指導は、学習指導の場はもちろん、生活全般に及び、教職員のチームワークで組織的に行う必要があります。そこで、1単位時間で全学級の授業参観の後、校内の生徒指導体制について協議を行い、組織的な生徒指導の推進について、情報交換をしたり共に考えたりする時間を設定していただきたいと思います。わずかな時間ではありますが、普段通りのスケジュールで迎えていただき、その中で学校の生徒指導体制充実につながる訪問になればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

## B 人材育成に係る学校訪問指導

島根県教育センターより教職経験年数(研修期)に応じた研修課題が示されていますが、『B 人材育成に係る学校訪問指導』は、この経験者研修の「授業づくり研修」に合わせて実施します。初任者研修では「児童生徒等を主体とした授業」、6年目研修では「児童生徒等の実態に応じた授業」、11年目研修では「思考力・判断力・表現力等を育む授業」という段階に応じた授業力アップを求めていますので、研究協議等もその視点を大切に行っていたきたいと思います。

今年からフォローアップ研修の実施も始まり、複数年かけて初任校で初任者を育成することが必要だと言われています。また、11年目研修を終えた中堅教員と言われる先生方には授業力向上とともに後輩を育てる力をアップさせてほしいとお伝えしています。したがって特に6年目、11年目研修該当者の授業公開においては、この訪問指導を校内におけるOJTの機能の活用機会ととらえ、学校全体の指導力向上につなげてほしいと考えています。

## C(2) 特別支援教育に関する学校訪問指導

『C(2)特別支援教育に関する学校訪問指導』は「特別支援学級・通級指導教室の授業」と「ここにサポート事業」の2本柱で行います。

新設または新任担当の学級、教室を中心に訪問します。通常の学級においても特別支援教育の視点をもった取組が広がっています。これを機会に、特別支援学級や通級指導教室ならではの実践(特に「合わせた指導」や「自立活動」)を校内で共有し、学校全体での特別支援教育がさらに充実することを期待しています。

ここにサポート事業については、今年度も浜田教育事務所管内24校に配置されました。これは対象児童への直接的な支援はもちろんですが、校内体制の整備に役立てていただくことが大切です。学校全体での研究協議の場は必要ありません。各学校における活用やその効果(対象児童への支援、校内体制の整備等)についてお話をうかがおうと考えています。

# 心に寄り添う道德教育， 心に響く道德の時間を

学校教育スタッフ  
指導主事 羽柴 千晴

「心のノート」の全員配付の再開，全面改訂版の作成，道德教科化の検討……多様な価値観が存在し，新たな社会問題が山積する今，道德教育のより一層の充実が叫ばれ，新しい動きが起きようとしています。そんな中，わたしたちは子どもたちを前にどのような道德教育を行うことを求められているのでしょうか。

ご承知のように学習指導要領では，道德教育について「道德の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行う」と記しています。道德教育がめざすのは「道德性」を養うことです。「道德性」とは，人間としてよりよく生きるために行う行為（道德的行為）を可能にする人間の特性であり，人格の基盤をなすものです。そして，道德的行為・習慣は人間の内面にある「道德的実践力」（道德的心情・道德的判断力・道德的実践意欲・道德的態度）によって支えられています。

その道德的実践力の育成を行うのが道德の時間です。実践力の育成をするということは，実践に向かって力が出せるようにするということです。道德の時間は，意欲，意志，感情，判断，身構えなどについて考える，心に響く時間でなければなりません。その時間に考えたこと，心に留まった思い，揺さぶられた感情がいずれ行為となって表出する際の支えになり，その行為を繰り返すための力となるのです。道德の時間が直近の課題解決に時間になってはいけなと言われるのはそのためです。また，子どもたちの日常生活の行動や言葉遣いを注意することは大切な指導ですが，それだけが道德教育の推進ということではありません。道德教育は心に寄り添うものであり，表出する行動や言葉遣いの内面の部分に働きかけるものであるからです。

では，具体的にはどう取り組んだらよいのでしょうか。そのポイントは昨年度配付した「実りある授業のために・道德編」に記載してありますが，『学校の道德教育の重点目標を全教職員で共通理解し，共通実践

すること』『道德の時間の授業を35時間（小1は34時間）きちんと行うこと』の2点を特に意識していただきたいと思います。道德の内容項目は，四つの視点の下に示され，学年の段階によって数が異なります。小学校1年生は34時間で16の内容項目，2年生は35時間で16項目，中学年は18項目，高学年は22項目，中学校は24項目を指導します。したがって，1時間で1つの内容項目を指導した場合，それぞれの学年で11～19時間が余ります。学校として何を重点に道德教育を行うのかを明確にしておくことで，どの項目を繰り返し指導するのかが決まるのです。

また，個々の内容は互いに関連し合い，発達の段階を追って系統性が見られます。下記に示したのは，「心のノート」の内容項目の全体イメージを表している見開きページです。道德の内容の四つの視点はそれぞれ赤，緑，青，黄色に色分けされ，4冊ともにその色が統一されています。子どもたちも一緒に内容項目を意識しながら，教育活動全体を通じて繰り返し取り組んでいこうという工夫です。



この春，『心のノート』を生かした道德教育の展開—『心のノート』活用事例集』の改訂版が文部科学省から配付されました。「心のノート」を使っの研修の実施も，道德教育の推進，教職員の共通理解，共通実践のためには有意義だと考えます。多様な価値観が存在し，激動の時代といわれる今だからこそ，「心に寄り添う道德教育，心に響く道德の時間」が求められているのではないのでしょうか。



## 平成25年度 浜田教育事務所管内研究指定校等 《順不同》

研究指定校等	市 町	地域・学校
文部科学省「人権教育研究指定校」 兼：島根県「島根県人権・同和教育研究指定校・園」	美郷町	大和小 (H25～H26)
文部科学省「特別支援教育体制整備の推進事業」	全市町	
島根県「特別な支援のための非常勤講師配置事業 (にこにこサポート事業)」	管内24小学校(浜田市9校, 大田市8校, 江津市4校, 川本町1校, 美郷町1校, 邑南町1校)	
島根県「小中学校の特別支援教育体制整備推進事業 ～スーパーコーディネーター配置事業～」	全市町	各一校ずつ
文部科学省「スクールカウンセラー配置事業」	全市町	管内17小学校・全中学校
文部科学省「生徒指導・進路指導総合推進事業」	浜田市	聖暉寮
文部科学省「スクールソーシャルワーカー活用事業」	全市町	
島根県「自学室での個別指導の充実に係る非常勤講師配置事業」 (学びいきいきサポート事業)	浜田市 大田市 江津市	浜田一中 浜田二中 浜田三中 大田一中 大田二中 青陵中
島根県「中1クラスサポート事業」	浜田市 大田市	浜田一中 大田一中
島根県「いじめ対応支援事業」	全市町 (H25～H27)	
島根県「教育支援センター等運営事業」	浜田市, 大田市, 江津市, 邑南町で実施	
文部科学省「英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を 強化する指導改善の取組事業」	江津市	江津中
島根県「サイエンスキースクール事業」	浜田市	石見小
島根県「環境教育総合支援事業」	川本町	川本中校区 (H24～H25)
島根県「小中連携キャリア教育推進事業」	浜田市	浜田二中・浜田東中校区 (H24～H25)
島根県「家勉充実プロジェクト」	浜田市 大田市 江津市	三隅中 大田二中 北三瓶中 桜江中
島根県「学習と評価実践研究事業」	浜田市	浜田一中 (H24～H25)
島根県「特色ある学校づくりを支援する30人学級編 制・島根スクールサポート事業」	浜田市 大田市 江津市 美郷町	原井小 松原小 石見小 三階小 長浜小 国府小 雲城小 大田小 久手小 津宮小 邑智小
島根県「主幹教諭配置に伴う代替非常勤講師の配置」	浜田市 大田市	石見小 周布小 大田小 大田二中
島根県「小学校専科指導の充実等による小中連携教育推進のための 加配」	浜田市 江津市	周布小 桜江小
文部科学省「道徳教育総合支援事業」	美郷町	邑智中校区
島根県「しまねのふるまい推進プロジェクト事業」	全市町 (H25～H27)	
文部科学省「学校図書館の有効な活用方法に関する調査研究事業」	大田市	
島根県「子ども読書活動推進事業」	全市町 (H21～)	
島根県「学校図書館活用教育の充実に係る非常勤講師 (司書教諭サポート事業)の配置事業」	浜田市 大田市	長浜小 雲城小 久屋小 仁摩小
島根県「体力向上推進モデル事業」	浜田市 大田市	岡見小 (H24～H25) 朝波小 (H24～H25) 大田一中 (H25～H26)
島根県「ふるさと教育推進事業」	全市町	
島根県「結集!しまねの子育て協働プロジェクト」 ・学校支援                      ・放課後支援                      ・家庭教育支援	全市町	